

第199回 防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和8年3月4日（水） 10時00分～12時10分

2 場所

防衛省庁舎D棟3階第1庁議室

3 出席者

（委員）

田内会長 柴山会長代理 石田委員 片岡委員 西谷委員 清水委員 林委員

（防衛省）

防衛装備庁 滝澤長官官房審議官、装備政策部長代理装備政策課統括企画官、調達管理部長代理調達企画課長、鈴木調達事業部長、秋田監察監査・評価官（事務局）統幕後方計画部長代理後方計画課長、陸幕装備計画部長代理装備計画課長、海幕星装備計画部長、空幕装備計画部長代理装備課長

4 議題

- （1）随意契約に係るサンプリング調査審議（令和6年度 陸上自衛隊東北補給処）
- （2）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和6年度 陸上自衛隊）
- （3）入札状況報告（令和6年度 第3・第4/四半期）
- （4）次回の日程等

5 議事概要

- （1）随意契約に係るサンプリング調査審議（令和6年度 陸上自衛隊東北補給処）

令和6年度に陸上自衛隊東北補給処が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「引金センサ（89R）ほか5件」について審議を行った。

（引金センサ（89R）ほか5件の概要）

本契約は、実弾の代わりにレーザー光戦及び電波を使用し、実践に近似した交戦訓練を可能にし、部隊の交戦能力向上に寄与する交戦訓練用装置Ⅱ型の小火器用レーザー送信装置 に使用する部品の製造請負契約である。

【事前調査における論点等】

- ① 過去の類似契約実績において、主な部品を具体例とし、故障品が生じる頻度、部品調達のリードタイム、ストック品の推移を示されたい。また予定価格と実績価格を示した上で、実績価格が下がったものがあれば、その要因について説明されたい。
- ② 過去の類似契約実績等を分析し、故障する前に計画的に調達する方が、可動率、価格及び期間においても合理的であると考えているが、現在の故障の都度、調達する方法を採用している理由及び合理性について説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

(引金センサ(89R)ほか5件)

事前調査の論点①及び②について

委:資料において所要量及び必要数量等は、年度ごとの分析となっているが、物によって各月、日ごとの分析が必要と思われるが、実際はどのように把握しているのか。

防:重要装備品においては、適宜管理しているが、当該案件は訓練器材であり、また、訓練器材も多数あるため、業務配分の関係から優先順位はどうしても低くならざるを得ない傾向となり、実際は月ごとの管理となっている。

委:承知した。ただ有事の際に、迅速に対応するためには、今後DX化やAIを活用するなどして、業務負担を掛けずに、日々管理及び分析することが必要だと思うが、如何?

防:ご指摘のとおりであり、現場の負担を掛けずに管理及び把握する体制作りを検討しており、現在AI導入を含めたシステム改修を実施しており、将来予測を含め管理していきたいと考えている。

委:是非、その様に実施されたい。

委:可動率が低いものがあるが、この場合、所要量に合わせて訓練を実施するのかについて説明されたい。

防:所要量に応じて訓練を実施するのではなく、訓練計画に合わせて色々な手段を用いて部品を確保し、訓練を実施している。

委:資料で示されたように所要数量等を可視化するなどして、どこにボトルネックがあるのかを分析し、訓練計画に合わせた適切な調達を実施されたい。

委:部品交換時期について、製造メーカーから提案されていなかったのか。

防:過去、製造メーカーへ問い合わせたが、部品数が多く、部隊における故障実績のデータ収集が困難であり、交換時期の提案は難しいとの回答を得た。

委：承知した。

委：繰り返しになるが、部隊要求に合った適切な使用時期及び数量を把握するにあたり、当該案件のみならず全体の問題として、それに係る手続きについて省人化・省略化できるよう今後検討されたい。

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和6年度 陸上自衛隊）

【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ① リチウム電池 JBA-7006 ほかに11件等

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ② 防塵フィルタ ほかに39件

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件1件】

- ③ 掩体用箱型土のう 基礎用 ほかに1件

【事前調査における論点等】

- ① リチウム電池 JBA-7006 ほかに11件等

- ・過去の同種の契約実績（調達時期、品名、数量、応札者応札金額、契約相手方、契約金額等）を示し、パナソニックコネクト会社、海洋テクノ社が1者応札となった理由について具体的かつ詳細に説明されたい。また、改善策についても合わせて具体的かつ詳細に説明されたい。
- ・本件の調達数量が大量となった理由を説明されたい。また応札者数を増やすために調達数量や納期を調整するなどの工夫をされたのかについても説明されたい。
- ・本件において、素電池の要求内容の合理性について説明されたい。
- ・会計検査院の指摘後、一次電池と二次電池の合理的な使い分けについて現況を説明されたい。また、一次及び二次電池を合理的に組み合わせ調達することについての考え方を説明されたい。
- ・無線機本体の要求時において、当該バッテリーの仕様について説明されたい。また無線機本体のライフサイクルコストの観点から当該契約の価格等について検討されたのか説明されたい。
- ・No. 31 について再公告となった理由について説明されたい。

- ② 防塵フィルタ ほかに39件

- ・10式専用かつ独占販売権を有する契約相手方以外から購入できる蓋然性が感じら

れないが、現実的な1者応募改善方策はあるのか具体的に示されたい。

- ・公募ではなく、当初から随契として合理的な価格、条件の交渉をした方がよいのではないか。事務負担コスト等の観点からもより良い調達方法を検討される余地はないのかについて説明されたい。
- ・過去の同種の契約実績（調達時期、品名、数量、応札者応札金額、契約相手方、契約金額等）を示されたい。
- ・10式戦車のライフサイクルコストの観点から当該契約の価格等について検討されたのか説明されたい。
- ・予定価格の算定方式は、市場価格方式とのことだが、具体的な計算方法を示したうえで、どのように価格の適正を確保しているのか説明されたい。契約相手方が製造会社ではなく、販売会社であるためGCI P等の価格上昇になるのではないのか。

③ 掩体用箱型土のう 基礎用 ほか1件

- ・当該契約両方とも同一の2者が入札しているが、それぞれの入札価格の整合性、合理性について説明されたい。また、どのように事後チェックを行っているか具体的に説明されたい。
- ・事業全体の計画と今回の分について調達数量等具体的に説明されたい。
- ・契約を2つに分けた理由及びそれぞれの入札の適正性について具体的に説明されたい。
- ・仕様書の製品に関する要求（(2.2 a) の表2）において、材料となる外枠の鉄線の線径が、特定の数字になっている理由及びその合理性について具体的に説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

① リチウム電池 JBA-7006 ほか11件等

委：通信無線機の電池は、入手しやすい仕様である方がいいと考えるが、フッ化黒鉛リチウム電池を使用する理由について説明されたい。

防：以前、二酸化マンガン電池を使用していたが、発煙、発火等があったため、現在の仕様となっている。一方、フッ化黒鉛に固執するのではなく、技術開発などがあり、新しい素材の使用が可能であれば、関係部署と調整の上、検討し、より調達しやすい仕様に変更していきたいと考えている。

委：競争性を拡大するという観点から、仕様の変更の頻度等を決めていくということも有用と考えるが、仕様変更を実施するタイミングについて説明されたい。

防：主体品の仕様変更に併せて附属する部品等の仕様変更を実施するのが一般的である。事故等及び調達上の課題に合わせて仕様変更を実施している。

- ② 防塵フィルタ ほかに39件
特段の意見なし。

- ③ 掩体用箱型土のう 基礎用 ほかに1件

委：競争性の拡大を実施するため、現在の仕様を見直し緩和することは可能であるのか。

防：運用上必要な仕様であるため、線径の緩和は難しいと考える。当該仕様条件に対応できるのは入札参加会社であると把握している。

委：承知した。そういった実情を踏まえた上で改善策を深掘し、調達されたい。

(3) 入札状況報告（令和6年度 第3・第4/四半期）

各機関等が行う入札について、防衛省大臣官房監査課より報告した。

(4) 次回の日程等

今回は5月20日（水）の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。